

国立病院機構 福山医療センター レジメン登録・管理表

レジメン名称	悪性軟部腫瘍 Trabectedin (ヨンデリス) 療法		臨床区分	抗癌剤適応分類	登録日	2025年1月8日	
疾患名	子宮平滑筋肉腫		<input checked="" type="checkbox"/> 日常診療 <input type="checkbox"/> 単施設自主研究 <input type="checkbox"/> 他施設自主研究 <input type="checkbox"/> 市販後臨床研究 <input type="checkbox"/> 治験	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発化学療法 <input type="checkbox"/> 術後化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法 <input type="checkbox"/> 局所療法 <input type="checkbox"/> その他	1クール期間	21日	
診療科名	婦人科				実施回数	/回	
登録医師名	藤田 志保						

Rp	薬品名称	標準投与量	単位	投与方法	ルート	投与時間	投与日										注意コメント
							day1	day2	—	—	—	—	—	—	—	—	
1	生食注シリンジ10mL	1	本	静注			●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
2	生理食塩液	100	mL	点滴静注	メイン		●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	血管確保用
3	生理食塩液	100	mL	点滴静注	メイン	15min	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	パロノセトロン静注用0.75mg デキサート注射液 6.6mg	1 2.5	瓶 瓶														
4	生理食塩液	500	mL	点滴静注	メイン	24h	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1) 生理食塩液で30デ リスを溶解 (0.25mg/5mL、1mg/20mL) し、 生理食塩液500mLに注入する。 2) 中止静脈カテーテル又はポートより投与すること。 3) 調製後より30時間以内に投与を終了すること。
	ヨンデリス点滴静注用	1.2	mg/m2														
	生理食塩液	適宜	mL	持続点滴	メイン												
5	生理食塩液	50	mL	点滴静注	メイン		—	●									ラインフラッシュ用
6	生理食塩液	100	mL	点滴静注	メイン	15min	—	●									
	デキサート注射液 6.6mg	1	瓶														
7	パロノセトロン静注用100単位/mLシリンジ 100単位	1	本	静注			—	●									
8																	

備考欄

day3：デカドロン錠4mg 1日8mg（1回4mg）1日2回 朝・昼食後内服  
※イマド は相互作用（CYP3A4阻害）により30デ リスの血中濃度上昇し、副作用の頻度及び重症度が増加する恐れがあるため、使用は控えること。

文献

添付文書、子宮体がん治療ガイドライン2023年版

減量・中止基準

好中球数：500/mm<sup>3</sup>未満が6日間以上持続する。又は500/mm<sup>3</sup>未満で発熱、感染を伴う。  
血小板数：2.5×10<sup>4</sup>/mm<sup>3</sup>未満  
総ビリルビン：1.5mg/dLを超える。  
AST（GOT）、ALT（GPT）：投与21日目以降に施設基準値上限の2.5倍を超える。  
ALP：施設基準値上限の2.5倍を超える。  
非血液毒性：グレード3以上（※CTCAE ver4に準じる）